

令和元年度3年生課題研究 「模型班」 この一年間で取り組んだこと

① 班員 中松 廣瀬 宮村 吉井

② 課題研究として取り組んだこと

- ・自分が考える20年後に住んでみたい家の模型製作
- ・八代工業高校の校内案内板の製作

③ 取り組んだ内容

この1年間、大きく分けて2つのテーマに取り組んだ。一つ目は、自分が将来住んでみたい住宅を思い浮かべ、平面図に描き、スチレンボードで外観模型を作ることに取り組んだ。製作条件として、家族構成は自由、建築基準法は考えない、一軒家とした。班員それぞれが、自分の将来を思い浮かべ、自由な発想で住宅設計し、模型作りをおこなった。将来は、自分たちが思い描いた住まいに近いものを作りたい。

それぞれが作った模型（左から 中松 → 廣瀬 → 宮村 → 吉井）

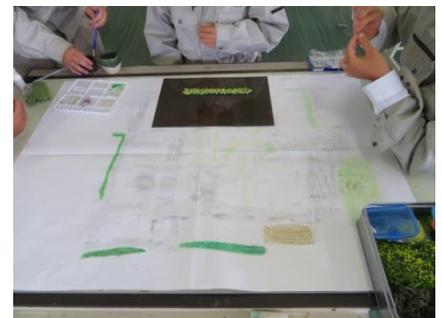


2つ目は、昨年度からの引き継ぎ事項で、学校の全体を案内する模型の製作に取り組んだ。まず始めに、各建物の縦横の長さを、メジャーなどで測った。測定した実際の長さから、模型にするための尺度を決め、計算した。そこから、大まかな学校全体の配置図を描き、建物それぞれを分担して作っていった。立体的にかつ見やすいようにそれぞれで話し合いをしながら取り組むことができた。協力して仕事をしていく大切さを学んだ。

実習棟の長さをメジャーで測定



各建物の模型と校内配置の確認



担当職員からの講評

4名と少ない人数ではあったが、それぞれがよく話をしながら、分担して作業に取り組んでいた。こちらが注意することもなく、進んで授業に参加していた態度はとても良く、それぞれの進路先でも活躍してくれるのではないかと期待している。課題研究で学んだ自主性と協調性を今後も活かして欲しい。